

(1)調査目的

神奈川県に「住みたい・住み続けたい」まちの実現に向けて、神奈川県転入者の引越しのきっかけや引越し先選択の理由を探り、区の魅力や課題を抽出すること、また、その魅力や課題に対する取組を検討して区の施策に活用することを目的として、神奈川県転入者・転出者意識調査を実施した。

(2)調査概要

転入・転出手続きのために神奈川県役所窓口へ来庁された方々に対し、横浜市電子申請システムでのアンケート(WEB 調査)と、アンケート用紙配布・回収(紙配布調査)の2種類の調査を行った。さらに調査結果を、神奈川県1年間の転入者・転出者の傾向に補正するため、令和5年中の区転入者・転出者と本調査の来住圏・転出圏にもとづく、ウェイトバック集計<sup>\*</sup>を行った。

区分	調査期間	転入者票数	転出者票数
WEB 調査	令和6年4月1日(月)～9月30日(月)	447票	52票
紙配布調査	令和6年9月9日(月), 10日(火), 11日(水), 12日(木), 13日(金), 17日(火), 18日(水), 19日(木), 20日(金)	207票	90票
計		654票	142票

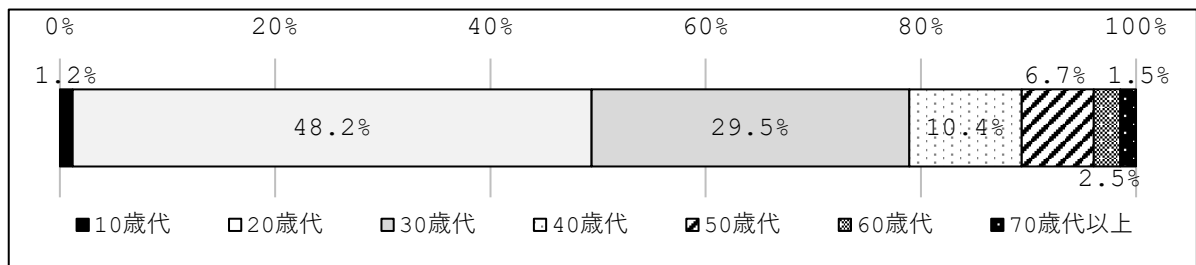
<sup>\*</sup>ウェイトバック集計：アンケート回答者の傾向が、母集団(本調査では令和5年中の神奈川県の転入者・転出者)に対して偏りがあると考えられる場合、母集団の傾向にあわせる補正值(ウェイト値)を設定し、アンケート結果を補正集計すること。

(3)調査結果 (ウェイトバック集計)

1) 転入者

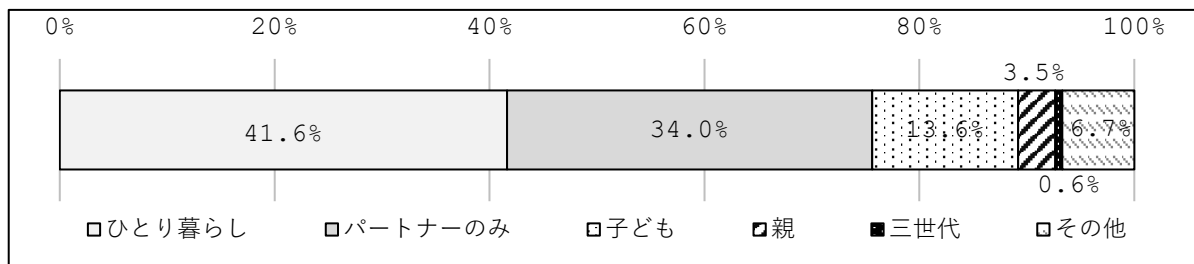
1)-1 回答者の年代

・20歳代 48.2%、30歳代 29.5%が大半を占めた。



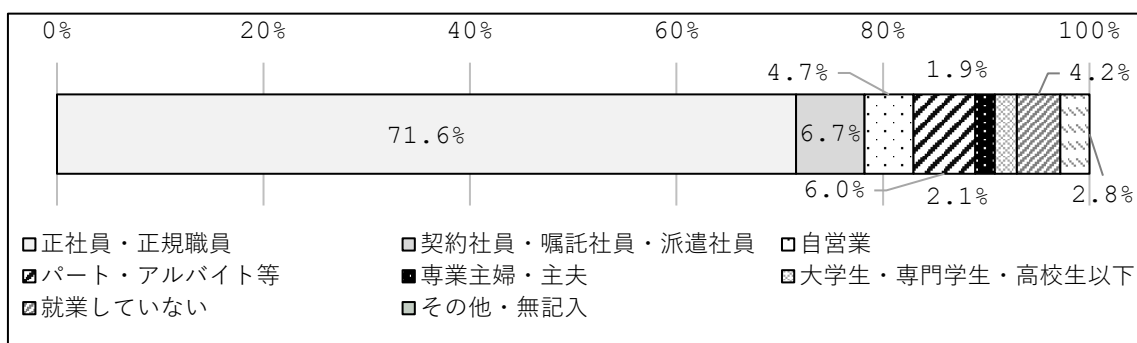
1)-2 家族類型

・「ひとり暮らし」が41.6%、「パートナーのみ」が34.0%となった。



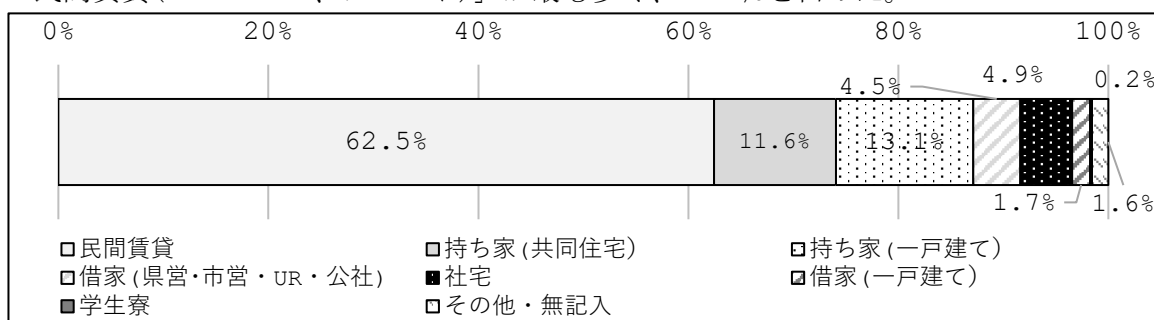
1)-3 就労状況

・「正社員・正規職員(公務員・団体職員含む)」が最も多く、71.6%を占めた。



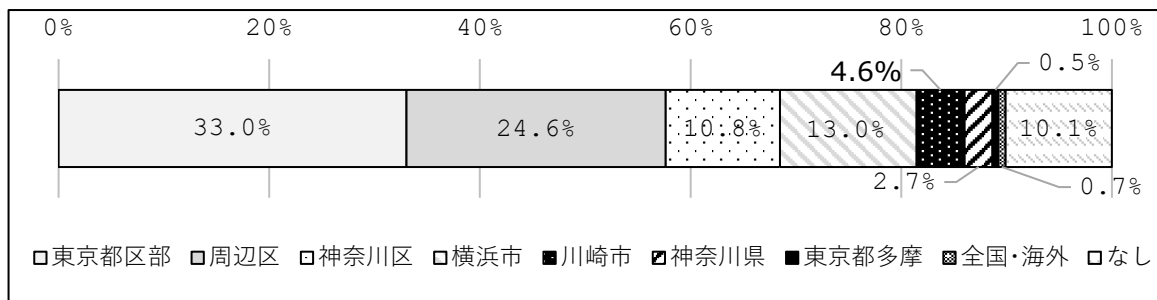
1)-4 住宅類型

・「民間賃貸(マンション、アパート)」が最も多く、62.5%を占めた。



1)-5 転入後の通勤通学先

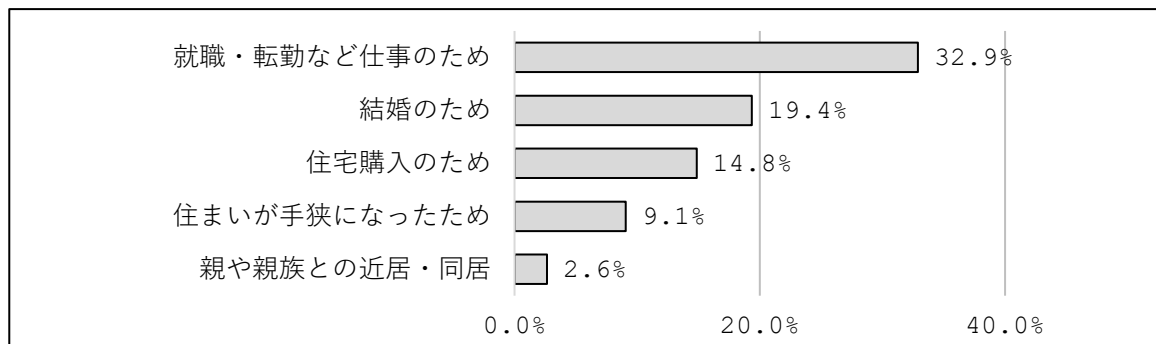
・最も多い回答が、「東京都区部」33.0%「周辺区」24.6%となった。



※周辺区…鶴見区・西区・港北区・緑区

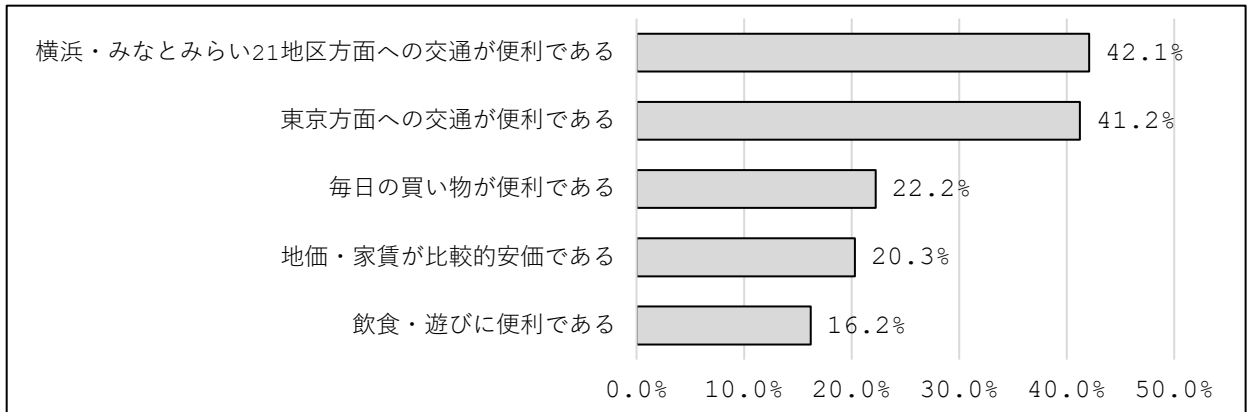
1)-6 引越しのきっかけ(上位5項目)

・最も多い回答が「就職・転勤など仕事のため」32.9%、2番目が「結婚のため」19.4%、3番目が「住宅購入のため」14.8%となった。



1)-7 引越し先選択理由(上位5項目)【複数回答】

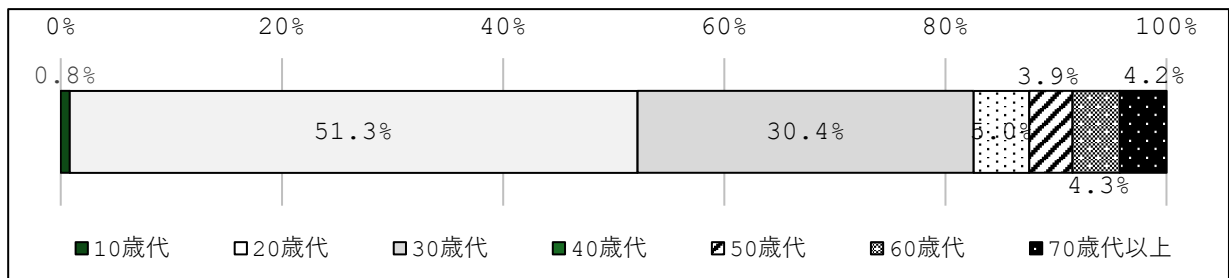
・最も多い回答が「横浜・みなとみらい 21 地区方面への交通が便利である」42.1%、2番目が「東京方面への交通が便利である」41.2%となった。



2)転出者

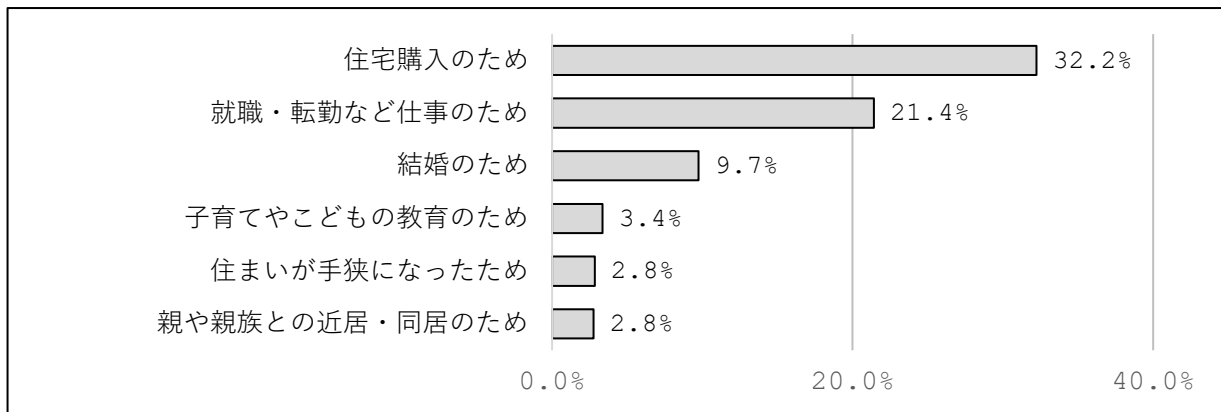
2)-1 回答者の年代

・20歳代51.3%、30歳代30.4%が大半を占めた。



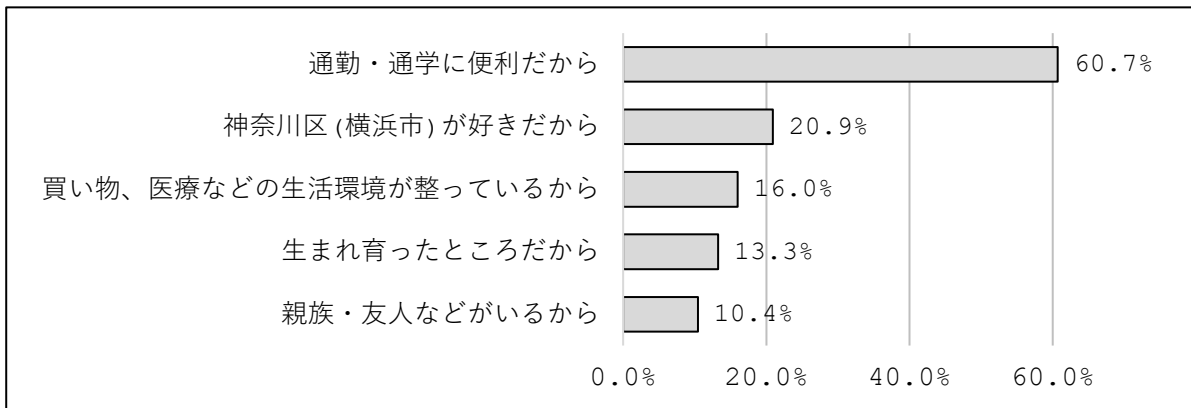
2)-2 引越しのきっかけ(上位5項目)

・最も多い回答が「住宅購入のため」32.2%、2番目が「就職・転勤など仕事のため」21.4%となった。



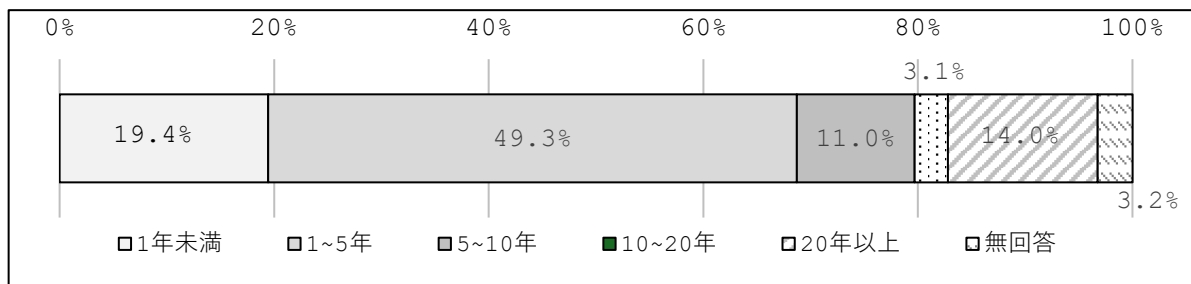
2)-3 神奈川区に住んでいた理由(上位5項目)【複数回答】

- ・最も多い回答が「通勤・通学に便利だから」60.7%、2番目が「神奈川区(横浜市)が好きだから」20.9%となった。



2)-4 居住期間

- ・最も多い回答が「1～5年」49.3%、2番目が「1年未満」19.4%となった。



2)-5 また住みたいか

- ・「住みたい」が86.0%となった。

